

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立本庄特別支援学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校の置かれた状況や児童生徒の実態を把握し、特別支援学校の趣旨や特長を踏まえた学校像が設定されている。学校に寄せられる地域からの期待を「特別支援教育のセンター」という部分に反映させるなど、児童生徒・保護者・地域の期待に十分応えたものとなっている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、学校関係者の要望や教職員の意見、県の事業を生かした中期的視点からの重点目標が設定されている。やや網羅的になっているので一層組織的に取り組めるよう四つの柱の関係性にも配慮して整理し、更に重点化した内容にすることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	中心となる分掌・学部・委員会のシートが作成されるなど、重点目標の達成に向け組織的に取り組まれている。評価項目を重点目標の達成に向けてその年度に重点的に取り組む目標となるよう具体性のあるものとし、評価しやすいものとなるよう工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	「高等部教育課程の類型化」や「デュアルシステム（就業体験学習）」等、先進的な取組を進めている。更にキャリア教育の視点を踏まえた「新シラバス」の作成や質の高い学び合いを目指した「交換授業」など様々な方策が策定・実施され、具体的な成果が上がってきている。方策を整理し評価項目とのつながりを強くするとともに、方策の評価指標を評価項目の達成度を決定する上で、より判断しやすい指標となるよう具体性を持たせることが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は学校の課題解決のため組織的に取り組もうとしている。教職員一人一人の能力を的確に生かし、組織力を一層高めようとする意欲が感じられた。学校全体や学部間等で目標や取組について更に共通理解を深め、目標の達成を目指すことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	学校関係者の意見やアンケート結果を教職員に示し、共通理解を図っている。アンケート結果の経年変化を多角的に分析するとともに、寄せられた意見を組織としてどのように取り入れるのがよいか検討し、達成状況や課題の的確な把握に努め、次年度の目標や方策に生かしていただきたい。	
特記事項			